

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【公表番号】特表 2019-513764 (P2019-513764A)

【公表日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2018-553142 (P2018-553142)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/17 (2015.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 K 47/65 (2017.01)

A 6 1 K 47/54 (2017.01)

A 6 1 K 47/58 (2017.01)

A 6 1 K 47/60 (2017.01)

C 1 2 N 15/12 (2006.01)

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 1 2 N 15/867 (2006.01)

C 0 7 K 5/065 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 35/17 Z N A Z

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 15/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 31/352

A 6 1 K 47/65

A 6 1 K 47/54

A 6 1 K 47/58

A 6 1 K 47/60

C 1 2 N 15/12

C 0 7 K 14/705

C 1 2 N 15/867

C 0 7 K 5/065

C 1 2 N 5/10

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 6 日 (2020.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

がんを治療するためのCAR T細胞組成物であって、
該CAR T細胞は、標的部分に対するCARを含み、
投与にあたって、

リンカーによって標的部分に連結している低分子リガンドを含む化合物またはその薬学的に許容される塩の第1の用量を投与し、同化合物またはその薬学的に許容される塩の第2の用量（ここで、第2の用量は第1の用量とは異なる）を投与することを合わせて行うことを特徴とする、CAR T細胞組成物。

【請求項 2】

がんを治療するためのCAR T細胞組成物であって、
該CAR T細胞は、標的部分に対するCARを含み、
投与にあたって、

第1の複合体またはその薬学的に許容される塩を投与し、第2の複合体またはその薬学的に許容される塩を投与する（ここで、第1の複合体および第2の複合体は、それぞれリンカーによって標的部分に連結している低分子リガンドを含み、第1の複合体と第2の複合体は異なる）ことを合わせて行うことを特徴とする、CAR T細胞組成物。

【請求項 3】

がんを治療するためのCAR T細胞組成物であって、
該CAR T細胞は、標的部分に対するCARを含み、
投与にあたって、

第1の複合体またはその薬学的に許容される塩の第1の用量を投与し、第2の複合体またはその薬学的に許容される塩の第2の用量を投与する（ここで、第1の複合体および第2の複合体は、それぞれリンカーによって標的部分に連結している低分子リガンドを含み、第1の複合体と第2の複合体は異なり、第1の用量および第2の用量は異なる）ことを合わせて行うことを特徴とする、CAR T細胞組成物。

【請求項 4】

配列番号：1に対して少なくとも約90%、約95%、約98%、または約100%の同一性を有する核酸を含むCAR T細胞。

【請求項 5】

配列番号：2に対して少なくとも約90%、約95%、約98%、または約100%の同一性を有するポリペプチドを含むCAR T細胞。

【請求項 6】

配列番号：1に対して少なくとも約90%、約95%、約98%、または約100%の同一性を有し、キメラ抗原受容体をコードする核酸。

【請求項 7】

配列番号：2に対して少なくとも約90%、約95%、約98%、または約100%の同一性を有するキメラ抗原受容体ポリペプチド。

【請求項 8】

配列番号：1に対して少なくとも約90%、約95%、約98%、または約100%の同一性を有する核酸を含むベクター。

【請求項 9】

ベクターが、レンチウイルスベクターである、請求項8に記載のベクター。

【請求項 10】

がんを治療するための請求項4または5に記載のCAR T細胞を含む医薬組成物であって

、
投与にあたって、

リンカーによって標的部分に連結している低分子リガンドを含む化合物またはその薬学的に許容される塩を投与することを合わせて行うことを特徴とする、医薬組成物。

【請求項 11】

少なくとも2つの異なるタイプのブリッジを含む組み合わせ医薬であって、

該ブリッジが標的部分に連結している低分子リガンドを含み、ブリッジの少なくとも1つにあるリガンドがCAIXリガンドであり、別のブリッジにあるリガンドが葉酸、DUPA、CCK2Rリガンド、NK-1Rリガンド、およびガンマグルタミルトランスペプチダーゼのリガンドから選択され、ブリッジ分子中の標的部分が同じである、組み合わせ医薬。

【請求項12】

少なくとも2つの異なるタイプのブリッジを含む組み合わせ医薬であって、

該ブリッジが標的部分に連結している低分子リガンドを含み、ブリッジの少なくとも1つにあるリガンドがNK-1Rリガンドであり、別のブリッジにあるリガンドが葉酸、DUPA、CCK2Rリガンド、CAIXリガンド、およびガンマグルタミルトランスペプチダーゼのリガンドから選択され、ブリッジ分子中の標的部分が同じである、組み合わせ医薬。

【請求項13】

少なくとも2つの異なるタイプのブリッジを含む組み合わせ医薬であって、

該ブリッジが標的部分に連結している低分子リガンドを含み、ブリッジの少なくとも1つにあるリガンドがガンマグルタミルトランスペプチダーゼのリガンドであり、別のブリッジにあるリガンドが葉酸、DUPA、CCK2Rリガンド、CAIXリガンド、およびNK-1Rリガンドから選択され、ブリッジ分子中の標的部分が同じである、組み合わせ医薬。

【請求項14】

標的部分がFITCである、請求項11、12、または13に記載の組み合わせ医薬。

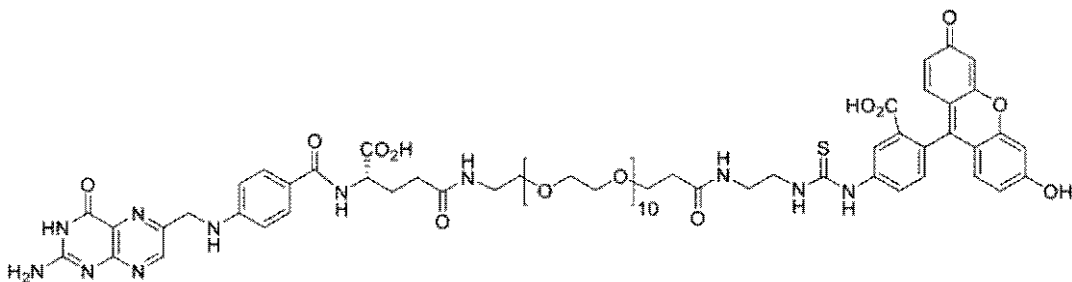
【請求項15】

がんを治療するためのCAR T細胞を含む医薬組成物であって、投与にあたって、請求項11～14のいずれかに記載の組み合わせ医薬を投与することを合わせて行うことを特徴とする、医薬組成物。

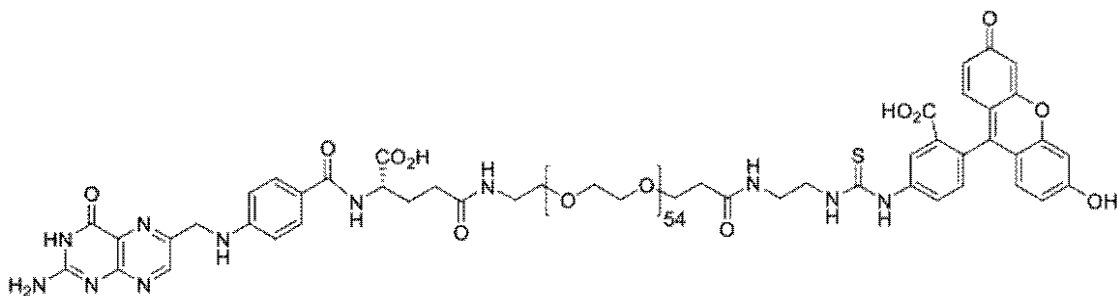
【請求項16】

式：

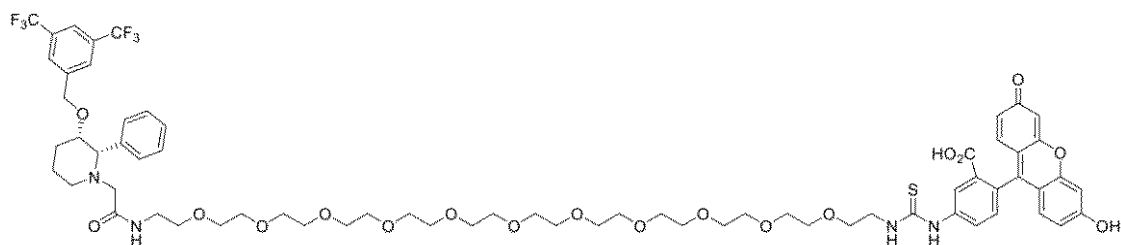
【化1】



【化2】

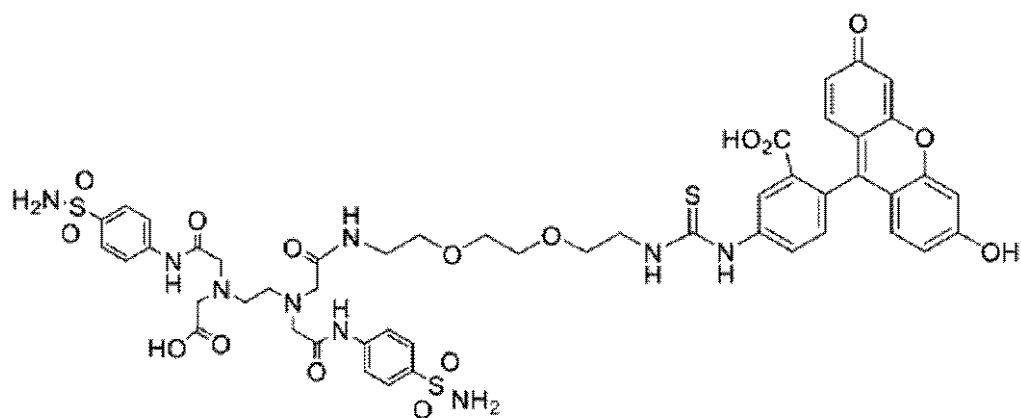


【化 3】



または

【化 4】



で示される複合体。